

2021年度 果樹施肥基準

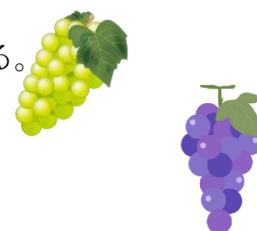
2021年6月発行

J A中野市営農センター

ぶどう

【 土壌分析を活用したオリジナル施肥体系の構築 】

- 共通：基肥施用時期：ハウスは9月上中旬、露地は収穫後半10月10日（体育の日）までに施用する。
- 共通：有機物を積極的に投入し土壌改善に努める。堆肥等は1～2tを目安に投入する。
- 種なし：基肥を基本する。樹勢が弱い場合追肥を実施する。
- 有核：樹勢が強く結実不良園は減肥し、生育期の樹勢を見ながら追肥で調節する。



1. シャインマスカット・種なしぶどう

概算 @16,300円/10a

		9-10月			樹勢が弱い場合		成分量 ※ ()内は最大値		
					発芽期	満開期			
肥料名		マイティー黒ぐろ	アヅミン 苦土石灰(粒)	ニューエコマグ または マグゴールド	【即効性】追肥グリーン2号		N	P	K
肥沃地	火山灰	2袋	4袋	1袋	0.5～1袋	0.5～1袋	2.4 (～14.0)	1.6 (～2.8)	0.8
	粘質	3袋					3.6 (～15.2)	2.4 (～3.6)	1.2
やせ地	砂質・礫質	4袋					4.8 (～16.4)	3.2 (～4.4)	1.6

2. ハウス巨峰（有核）

概算 @22,000円/10a

		9月			満開後～落花期		トビ玉発生期	成分量		
肥料名		マイティー黒ぐろ	アヅミン 苦土石灰(粒)	ニューエコマグ 又は マグゴールド	追肥グリーン2号 【即効性】	プレシャス有機K 【有機100%】	プレシャス有機K 【有機100%】	N	P	K
肥沃地	火山灰	3袋	4袋	1袋	1袋	—	1袋	10.6	3.6	1.6
	粘質	4袋						11.8	4.4	2.0
やせ地	砂質・礫質	5袋				2袋	15.4	6.4	2.8	

3. 露地巨峰（有核）

概算 @22,000円/10a

		10月			3月	満開期	トビ玉発生期	成分量		
肥料名		マイティー黒ぐろ	アヅミン 苦土石灰(粒)	ニューエコマグ 又は マグゴールド	腐植リン	追肥グリーン2号 【即効性】	プレシャス有機K 【有機100%】	N	P	K
肥沃地	火山灰	2袋	4袋	1袋	2袋	0.5袋	1袋	6.5	2.5	1.2
	粘質	3袋			1袋	1袋		10.6	3.6	1.6
やせ地	砂質・礫質	4袋			—	1袋	11.8	4.4	2.0	

【参考】好適樹相の目安

- 露地・種なし：第2新梢長で開花直前が80cm程度、着色期で150cm程度
- 露地有核：第2新梢長で開花直前が40～50cm、着色期で60～120cm程度

4. 特記

- ① 酸度矯正：アヅミン苦土石灰を元肥として施用する。*アヅミンの働きにより石灰やマグネシウムを下層まで分散・浸透させる。
- ② 有機物投入代替：アヅミンまたはフショペレを3～5袋程度投入する。
- ③ トビ玉発生期追肥：プレシャス有機Kを1袋程度施用する。*葉色が悪い場合等。裂果が心配される時期・園は施用しない。
- ④ 苦土補給：土壌PHにより選択する。選択例：PH6.0以下（酸性土壌）ニューエコマグを施用する。PH6.0以上（アルカリ土壌）硫酸マグネシウムを施用する。施用時期：露地3月・ハウス被覆直後
- ⑤ ほう素補給：ほう砂を元肥で施用する（目安3～4年に1度）。葉面散布：開花前にマルポロン散布する。

5. 主な肥料の成分表

肥料名	成分量			その他の成分
	チッソ	リン酸	カリ	
マイティー黒ぐろ	6.0	4.0	2.0	有機57%、く溶性苦土5.5%、マンガン0.4%、ほう素0.1%
追肥グリーン2号	29.0	3.0		速効性追肥肥料
プレシャス有機K	6.0	3.0	1.0	動植物有機原料、肥料を混合した醗酵熟成有機質肥料。
ジャンプ有機7号	7.0	4.0	2.0	動物質の水溶性アミノ酸を含有し、有機100%の速効性肥料
アミノシャープ085	10.0	8.0	5.0	魚由来のアミノ酸、苦土、有機態窒素50%含有。
ノルチッソ	14.0			硝酸態窒素と水溶性カルシウムが主成分、カルシウム23%、マグネシウム・ホウ素・マンガンも少量含む。
硫安	21.0			速効性追肥肥料
腐植リン		15.0		く溶性・水溶性リン酸、マグネシウム8%、腐植酸35%
硫酸マグネシウム				マグネシウム25%、水溶性の速効性肥料、pH6以上で効果が高い。
ニューエコマグ				マグネシウム53%、遅効性、pH6以下の土壌で元肥として使用する。
アヅミン苦土石灰				アヅミン10%、マグネシウム10%、アルカリ分50%、ほう素・リグデニン・亜鉛も含む。
アヅミン				腐植酸約50%、マグネシウム3%
フショペレ				保肥力、通気性、透水性の改善、腐食酸48.7%



りんご

要素標記：N（窒素）、P（リン酸）、K（カリ）、Mg（苦土）、Mn（マンガン）、B（ほう素）

1. 基本体系：健全樹・10年生樹以降等

@17,760円/10a

肥料名	収穫終了後 又は翌春	成分量 (kg/10a)					
		N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ	3袋	7.2	3.6	1.2	3.0	0.2	0.1
種 粕	3袋	3.0	1.2	0.6	—	—	—
天然ボカシ肥	3袋	1.3	2.2	1.3	—	—	—
サンライム（粉）	3袋	—	—	—	1.8	—	—
合 計		11.5	7.0	3.1	4.8	0.2	0.1

- ◆ 天然ボカシ肥に代えて、発酵ケイフン4袋(75kg)でもよい。

2. 強化体系：弱樹勢・やせ地・老木樹等

@16,500円/10a

肥料名	収穫終了後 又は翌春	成分量 (kg/10a)					
		N	P	K	Mg	Mn	B
りんご専用(果樹1号)	3袋	9.6	3.6	4.8	—	—	—
種 粕	3袋	3.0	1.2	0.6	—	—	—
天然ボカシ肥	3袋	1.3	2.2	1.3	—	—	—
アヅミン苦土石灰(粒)	3袋	—	—	—	6.0	—	—
合 計		13.9	7.0	6.7	6.0	0.0	0.0

- ◆ りんご専用は在庫終了後、同成分資材「果樹1号」に随時変更販売になります。

3. 有機100%体系

@15,820円/10a

肥料名	収穫終了後 又は翌春	成分量 (kg/10a)					
		N	P	K	Mg	Mn	B
エアーポイント	20袋	4.2	8.7	3.5	—	—	—
種 粕	3袋	3.0	1.2	0.6	—	—	—
サンライム（粉）	3袋	—	—	—	1.8	—	—
合 計		7.2	9.9	4.1	1.8	0.0	0.0

- ◆ エアーポイントに代えて、天然ボカシ肥5袋でもよい。また、種粕に代えて発酵ケイフン7袋でもよい。

【特記】

- ① 施肥体系の選択：樹勢・土壌質等により異なります。
- ② 施肥時期：ふじ等収穫終了後（11月下旬～12月上旬頃）または翌春（3月中旬～4月上旬頃）
- ③ 施肥量：5年生基準の30%、7年生60%、10年生以降は100% * 樹勢に応じて加減する。
- ④ pH：6.0～6.5を保つ * pHの状況により石灰類の施用量を加減する
- ⑤ 追肥：結実確定後（5月下旬頃）に追肥グリーン2号を1袋/10a程度する。
- ⑥ 苦土欠乏対策：土壌分析に基づいて、硫マグ（アルカリ土壌）又はニューエコマグ、マグゴールド（酸性土壌）を施用する
- ⑦ ほう素欠乏対策：土壌分析に基づいて、ほう砂を適量施用する。
- ⑧ 葉面散布：苦土・マンガン・ほう素成分入り資材を生育期に散布する。
- ⑨ 土壌改良指針に基づき有機物の投入を行う。尚、有機物の投入ができない場合は、アヅミン又はフショペレを3～5袋投入する。
- ⑩ カリ過剰対策：土壌分析に基づいて、ニチミネ5号を収穫後に10a当たり3～5袋投入する。（土壌中のカリの吸着、PH矯正）

施用量の目安

肥沃地 50～60%
中庸地 100%
やせ地 120～130%

- ◆ **ニュー果じゅっこ**
*成分：N-12・P-6・K-2・Mg-5・Mn-0.4・B-0.2
*有機50%を含有しているJA中野市オリジナル有機質肥料。
- ◆ **りんご専用（果樹1号）**
*成分：N-16・P-6・K-8
*有機物とあわせて施用する。
- ◆ **天然ボカシ肥**
*成分：N-3・P-5・K-3
*原料は数種類の動植物有機100%（魚カス・米ぬか・ケイフン・卵殻・海藻など）で構成されており、それを十分発酵（ぼかし）し、ペレットした。
*有機質肥料特有の微量元素を豊富に含有している。
*肥効は速効的な面と緩効的な面の両方を有し、持続性がある。
- ◆ **サンライム**
*原料はカキ殻100%で天然有機石灰
*カルシウムの他に生育に必要な微量元素（苦土・マンガン・鉄・ホウ素など）を含む。
- ◆ **アヅミン苦土石灰**
*成分アルカリ分50、苦土10、アヅミン10
*アヅミンの効果により下層への浸透力が強い。
*石灰類についてはアヅミン苦土石灰に代えてタイニー（炭酸苦土石灰）でもよい。
- ◆ **エアーポイント**
*主原料であるコーンコブ使用済培地に微生物資材（中温菌・高温菌ほか数十種類）をバランス良く配合させた良質堆肥。
*土壌が膨軟になり、根の張り・保肥力の向上、連作障害の改善などの効果が期待できる土壌にやさしい有機物。
- ◆ **追肥グリーン2号**
*成分 N29、P3
アンモニア態窒素14.9%・硝酸態窒素14.1%
*肥効が早い硝酸態窒素を多く含むため、追肥に有効。

核果類 (もも・ネクタリン・プラム・プルーン・サクランボ)



◎土壌別の施用量の目安：肥沃地基準量の50～60%、中庸土壌100%、やせ地120%

◎樹齢により施肥量を加減する。3年生は基準量の30%、4年生は50%、5年生は80%、8年生以降は100%を目安とする。

◆基本体系

@18,680円/10a

肥料名	施用時期及び施用量		成分 (kg/10a)					
	収穫終了後	9月～10月	N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ		4袋	9.6	4.8	1.6	4.0	0.3	0.1
天然ボカシ肥	5袋		2.2	3.7	2.2			
サンライム(粉)		3袋				1.8		
合計			11.8	8.5	3.8	5.8	0.3	0.1

◆ **ニュー果じゅっこ**
 ◆ 成分 N-12、P-6、K-2、苦土-5、マンガン-0.4、ほう素-0.2、有機50%

◆ **天然ボカシ肥**
 *原料は数種類の動植物有機100%(魚カス・米ぬか・ケイフン・卵殻・海草など)で構成されており、それを十分発酵(ぼかし)し、ペレット状にした。
 *有機質肥料特有の微量元素を豊富に含有している。
 *肥効は速効的な面と緩効的な面の両方を有し、持続性がある。

*天然ボカシ肥に代えて、発酵ケイフン7袋(105kg)を使用してもよい。

◆有機強化体系

@21,370円/10a

肥料名	施用時期及び施用量		成分 (kg/10a)			
	収穫終了後	9月～10月	N	P	K	Mg
JA中野市もも有機70		5袋	10.0	5.0	4.0	
天然ボカシ肥	5袋		2.2	3.7	2.2	
サンライム(粉)		3袋				1.8
合計			12.2	8.7	6.2	1.8

もも有機70
 ◆成分(N-10%・P-5%・K-4%)有機70%
 ◆カリ過剰傾向に対しカリ成分を下げた肥料。有機成分を70%とし大幅に有機率を高めた。

サンライム
 ◆原料はカキ殻100%で天然有機石灰
 ◆カルシウムの他に生育に必要な微量元素(苦土、マンガン、鉄、ほう素など)を含む。一般肥料と同時に施用できる。

*もも有機70に代えて、アミノシャープ085(有機60%、N-10%、P-8%、K-5%、Mg-2%)を使用してもよい。

■微量元素施用・追肥等(10a当り施用量)

- マンガン欠乏対策：硫酸マンガン1袋を施用する。
- 苦土欠乏対策：硫マグ(アルカリ土壌)又はニューエコマグ、マグゴールド(酸性土壌)を2～3袋施用する。
- ほう素欠乏対策：ほう砂を2kg施用する。(3～4年に1回)
- 有機物の補給：アヅミン又はフショペレを3～4袋、10月に施用する。
- 樹勢が弱い場合

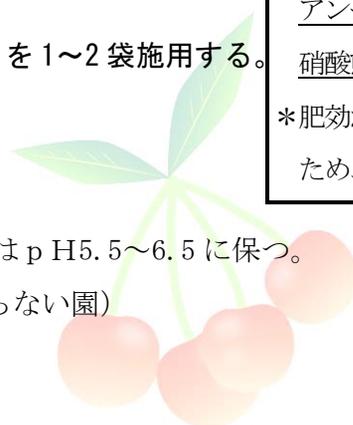
- ⇒ 結実確定後(5月中下旬頃)、追肥グリーン2号を1袋施用する。
- ⇒ 収穫終了後、天然ボカシ肥・発酵ケイフンのほかにプレシャス有機Kを1～2袋施用する。

■特記

- 根は過湿に弱いので、土壌改良し通気性を良くする。(水田転作等)
- pH矯正を行なう。もも類・サクランボはpH5.5～6.0、プラム・プルーンはpH5.5～6.5に保つ。
- 樹勢が強い場合、40～50%減肥する。(強樹勢=7月に入っても新梢が止まらない園)

【追肥グリーン2号】

◆成分(N-29%・P-3%)
 *窒素全量29%の内、
 アンモニア態窒素14.9%
 硝酸態窒素14.1%
 *肥効が早い硝酸態窒素を多く含むため、特に追肥に有効。



和梨・西洋梨

@21,120円/10a

肥料名	施用時期及び 施用量(袋)	成分量 (kg/10a)					
	収穫終了後	N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ	5袋	12.0	6.0	1.2	3.0	0.2	0.1
天然ボカシ肥	5袋	2.2	3.7	2.2			
サンライム(粉)	3袋				1.8		
合計		14.2	9.7	3.4	4.8	0.2	0.1



① pH: 6.0~6.5を保つ。

追肥: 葉色が薄く樹勢が弱い園は、結実後(5月中下旬頃)に追肥グリーン2号を1袋程度施用する

柿 キウイフルーツ

@13,560円/10a

肥料名	施用時期及び 施用量(袋)	成分量 (kg/10a)					
	落葉後	N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ	3袋	7.2	3.6	0.7	1.8	0.1	0.1
天然ボカシ肥	3袋	1.3	2.2	1.3			
サンライム(粉)	3袋				1.8		
合計		8.5	5.8	2.0	3.6	0.1	0.1



① 柿 pH: 6.0~6.8の微酸性を保つ。 *アルカリ土壌では生育が抑制される。

② キウイ pH: 5.5~6.5を保つ。

③ 追肥: 結実後等に追肥グリーン2号を1袋程度施用する。

◆ 主な葉面散布資材名 使用時期: 生育期~収穫直前まで 農薬混用: 可

商品名	保証成分量	使用目的	倍率	規格
メリット青	N:7.0% P:5.0% K3.0%	発芽・展葉促進・光合成促進他	300	1kg・6kg・20kg
オルガミン	TN:0.11% Mg:4% B:0.7% K:0.11% Mn:0.25%	肥大向上・食味向上	1000	1L・5L・10L・20L
グリーンデイズ	Mg16% Mn9.0% B2.5%	苦土・マンガン・ほう素補給	1000	1kg
ビックマグ	Mg23%	苦土補給	1000	1kg
液体硫酸マンガン	Mn13.5%	マンガン補給	200	1kg

良品質生産のための葉面散布剤使用例(果樹共通)

散布時期	商品名	対象品目	使用目的
発芽前・生育初期	メリット青	ぶどう他	発芽促進・展葉初期生育促進 他
生育初期~収穫まで	オルガミン	果樹全般	樹の健全化・品質向上・光合成促進 他
4月中~6月中まで	グリーンデイズ	果樹全般	葉の健全化(微量要素の補給)

※昨年(近年)発生した障害や本年の樹勢・葉色などをよく確認し目的をもって葉面散布を実施してください。

① 初期生育の改善により収穫時の品質の向上が見込めるため、生育初期(発芽以降)から使用してください。

② 1回の散布では効果が出ない場合があるため、継続した散布を実施してください。

③ 葉面散布剤は使用時期・回数などにより生育障害や過剰障害が発生する場合があります。使用の際は担当技術員に相談してください。

④ 葉面散布は補完的な位置づけとし、元肥・追肥等で土壌環境の改善を行うことを基本とします。